

# いいね! はりま

町政  
レポート  
No.68



▲多勢の親子が集った七夕まつり

日本では猛暑の8月、イギリスのロンドンで開催されていたオリンピックがたくさんの感動とともに、無事閉幕しました。

深夜、リアルタイムで届く熱戦の映像に、寝る間も惜しんで観戦された方も多いのではないのでしょうか。日本選手たちの素晴らしい活躍を讃えるとともに、それに続く若い力を期待したいと思います。

◆7月28日、中央公民館で七夕まつりが開催されました。今年が町制施行50周年の記念行事ということもあって、例年以上に盛りだくさんな内容で行われました。テレビなどでも活躍されている「ワタナベフラワー」と播磨町のダンシングチーム「キララ」との歌やダンスによるコラボで会場は大いに盛り上がりました。会場いっぱい詰めた親子連れは、外の暑さも忘れて熱演・熱唱のステージを楽しみました。また、ロビーや研修室では、ボランティアの方々によるゲームや紙芝居なども行われ、いろいろな体験をした子どもたちにとって今年の七夕まつりは、きっと忘れられない思い出のひとつになったのではないのでしょうか。

◆8月2日に播磨町の小中学校で出されている給食の試食会がありました。私も試食をさせていただきましたが、パンは子どもたちに一番人気の「きな粉パン」。給食室でひとつずつ揚げて、きな粉をまぶしているということで、ふわふわで香ばしく、人気なものわかるような気がしました。スープにも地域で採れた野菜がたっぷり入っていて、栄養への配慮が伺えました。

チキンソーセージはどこかなつかしい味で、子どもたちにも食べやすい食材だと思いました。ゼリーも給食員さんの手作りで、冷たくてやさしいデザートでした。最後に牛乳を飲み干しての感想は「量も満足、おいしい!」でした。

これからも「安全でおいしい給食」を。

播磨町長 清水ひろ子

## 涙と笑いと心にしみる 絵本ライブ

図書館 ☎079(437)4500



6月23日、播磨町町制施行50周年と図書館開館30周年の記念事業として『長谷川義史さん 絵本ライブ』が開催されました。心配していた台風も前日には通過し、お天気にも恵まれ、当日は400人を超える皆さんにお越しいただきました。

講演は、自作絵本の朗読『串かつやよしこさん』『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』、ライブ紙芝居『いいから いいから』、『播磨町うまいものうた』など長谷川先生の絶妙トークに子どもも大人も大いに盛り上がりました。また、心にしみいるお話もあり、涙と笑いのうちに無事終了することができました。

開場待ちの間、展示している長谷川義史さんの資料をたくさん子どもさんが夢中になって見入っていて、講演終了後には家族で図書館に立ち寄る方もあり、絵本に触れるくつろいだ時間をすごしていました。

## 子ども防災体験キャンプ 7月25日~26日

生涯学習グループ ☎079(435)0565

子ども防災体験キャンプが中央公民館を拠点に実施されました。今回は、町内の小学校の5、6年生17人が参加。災害時に役立つ知識をいろいろな体験を通して学びました。

1日目の午前中は、ダンボールを用いた家作り。実際に泊まるとあって、工夫を凝らした作品ができあがりました。午後は、古宮漁港の防潮ゲート見学、土のう作り体験、プールでの着衣泳訓練を行いました。夜にはAEDを用いた心肺蘇生法の学習。命の大切さを真剣に考えました。



2日目は、加古川市防災センターと淡路の福良港津波防災ステーションに行き、地震や火災、津波について学びました。

猛暑の中でしたが、子どもたちは一生懸命取り組み、充実した2日間を過ごしました。

昭和40年に、町内に大変な被害をもたらした台風23号の記事を「わがまちALWAYS」31ページで、紹介しました。「国鉄土山駅より」という記事を読み、緊迫した状況と非常時に助け合う地域の人々の姿に感動しました。

いざというときの、地域の力はすごいと思います。「台風シーズンの到来に備えて」の記事とあわせて、防災リーダー講座の案内を掲載しました。地域防の案力の向上につながればと願っています。

(宮)

楽屋裏

## 播磨町町制施行50周年記念事業 第4回全国地域づくりサミットinはりま&人生創造大学

スポーツクラス 21 はりま ☎079(437)2201



7月7日、8日の2日間、中央公民館で『こんな、「まち」~にしたいね!住みたいね!』と題した全国地域づくりサミットと、「人生をより豊かに!学び・実践しよう」をテーマに人生創造大学が開催されました。北は福島県から南は熊本県まで全国から65人、町内から125人が参加して、大いに学び語りました。

初日のサミットでは、埼玉県本庄市で「まちの駅」を中心にまちづくり活動を展開している阿奈正子さん(NPO法人まちの駅ネットワーク本庄 代表理事)の基調講演と、自治体報告として、北海道ニセコ町の片山健也町長と東京都江戸川区の多田正見区長がそれぞれの取り組みをお話されました。その後のシンポジウムには、清水ひろ子町長もパネリストに加わって活発に地域づくりについて意見交換がなされ、会場内は熱い思いに包まれました。

2日目の人生創造大学では、テーマごとに3つの分科会に分かれて、人生を豊かにするための議論が交わされ、参加者は多くのヒントを得て帰られたと思います。

分科会の一つ、子育てをテーマにした会場では、絵本作家のどいかなさんから新作の絵本を読んでもらって、ほっこりとした雰囲気の中で話が進められました。三鷹市から小林七子さん、播磨町から米津実千代さんが、それぞれのかかわるNPO活動について話され、参加者からもその活動に関する質問が出されるなど、自身が活動している事や抱えている問題点について、活発な意見交換の場となりました。私たち大人の役割として、昔から伝わってきたことや地域の良さ、そして、人として大事なことを伝えていくことがあげられました。参加された皆さんのお話から、「あなたが大事。私も大事」の気持ちを大切にしながら身近なところから声を掛け合っていくことでつながりが広がっていくんだと強く感じた分科会でした。



# トピックス

まちのわだい

## 播磨町と朝来市の子どもたちが1泊2日の交流 ~夏休み子どもチャレンジ教室~

スポーツクラス 21 はりま ☎079(437)2201

7月24~25日、播磨町と朝来市の小学生が交流し、一緒に楽しむ体験活動「チャレンジ教室」が実施されました。

1日目は新島にある加古郡リサイクルプラザで見学と体験学習をして、午後は明石市の江井島海岸で海遊びをしました。表紙の写真にあるように、ライフジャケットを邪魔に思う暇もないくらい生き物を探したり、タライの舟に乗り込んだりして楽しみました。また、例年は朝来市に宿泊をしていましたが、今年は明石市立少年自然の家で宿泊をしました。



2日目は朝来市に移動し、兵庫県立内水面漁業センターでアマゴをつかみ取りして、塩焼きにして食べました。

2日間の様々な体験を通して交流を深めたり、たくさんのチャレンジをしたりして、子どもたちはひとまわりもふたまわりも大きくなりました。



1歳

ほりた ゆうご  
堀田 侑吾くん(南大中)

可愛いしぐさに毎日メロメロです

(パパ・ママ)